



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 アイエグループ 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500  
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	35,664	0.4	1,844	33.8	1,955	30.3	1,342	36.2
2023年3月期	35,507	△0.9	1,378	1.9	1,500	3.4	985	1.3

(注) 包括利益 2024年3月期 1,365百万円 (34.1%) 2023年3月期 1,018百万円 (6.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	924.18	—	9.6	7.1	5.2
2023年3月期	676.32	—	7.6	5.3	3.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	27,780	14,668	52.3	9,998.34
2023年3月期	27,690	13,476	48.2	9,186.82

(参考) 自己資本 2024年3月期 14,521百万円 2023年3月期 13,342百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,588	△583	△1,491	1,413
2023年3月期	1,769	△561	△1,439	1,899

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	60.00	—	60.00	120.00	174	17.7	1.3
2024年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00	232	17.3	1.6
2025年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		15.8	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	2.3	1,600	△13.2	1,700	△13.0	1,100	△18.0	757.38

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	1,645,360株	2023年3月期	1,645,360株
2024年3月期	193,017株	2023年3月期	192,957株
2024年3月期	1,452,375株	2023年3月期	1,457,483株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,685	△2.0	132	41.6	288	△0.2	538	21.2
2023年3月期	1,720	2.5	93	26.4	288	3.9	444	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	370.55	—
2023年3月期	304.69	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	11,642	4,436	38.1	3,054.51
2023年3月期	14,042	4,065	28.9	2,799.06

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,436百万円 2023年3月期 4,065百万円

※ 個別実績の前年実績値との差異理由

当社は連結子会社の株式会社アルカンシエルに対する貸付金に対して、貸倒引当金を計上しておりましたが、当事業年度において、同社の直近の業績と財政状態を踏まえて評価の見直しを実施した結果、貸倒引当金戻入額として307百万円を特別利益に計上しております。上記により、前事業年度の実績と当事業年度の実績に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(会計方針の変更)	15
(追加情報)	15
(表示方法の変更)	15
(連結貸借対照表関係)	16
(連結損益計算書関係)	17
(連結株主資本等変動計算書関係)	19
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	20
(セグメント情報等)	21
(1株当たり情報)	24
(重要な後発事象)	24
4. 個別財務諸表及び主な注記	25
(1) 貸借対照表	25
(2) 損益計算書	27
(3) 株主資本等変動計算書	28
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	30
(継続企業の前提に関する注記)	30
5. その他	30

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、経済活動は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化および諸外国の金融政策に伴う為替の変動等により、資源・原材料価格の高騰が消費財全般に影響を与えており、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は減収増益、ブライダル事業は増収増益となり、建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高につきましてはセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

#### (カー用品事業)

2023年5月にあったタイヤ値上げにおいて、値上げ前の営業活動による需要取り込みがあったのちもタイヤ販売は堅調に推移しました。また、収益性の高いピットサービス部門も順調に推移し、出張買取等の施策を強化した車両販売も計画を上回る推移をしておりました。しかしながら当第3四半期会計期間において例年以上に気温の高い日が続く、冬季商材の動きが想定以上に鈍かったことが影響したため、前年同期と比べ減収となりました。

利益面においては、車両販売における粗利益率の改善と、退職給付費用の洗替と店舗照明のLED化に伴う水道光熱費の減少等により、前年同期と比べ増益となりました。

#### (ブライダル事業)

感染症の影響が落ちているなか、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施いたしました。また、当第1四半期会計期間において婚礼受注の強化に努めたことと、アルカンシエル横浜の一部会場の改装がお客様の支持を得られたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めながら、当第3四半期会計期間において大型の不動産物件売却をしたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (その他の事業)

コメダ事業については、グループ事業の選択と経営資源の集中を目的として、当第4四半期会計期間において事業譲渡をいたしました。また、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ減収増益となりました。

#### (総括)

以上の結果、当連結会計年度の売上高は35,664百万円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益につきましては1,844百万円（前年同期比33.8%増）、経常利益につきましては1,955百万円（前年同期比30.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては1,342百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

#### ② 次期（2025年3月期）の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善が続くことで、景気は緩やかに回復していくことが期待されます。しかしながら国際情勢の不安定化や為替の変動による影響に加え、物価の上昇による消費者心理の冷え込みも懸念されるなど、その先行きは非常に不透明な状況が続くものと予想されます。

このような見通しのなか、カー用品事業につきましては接客応対や技術の質を高めることと、利益率の高いピットサービス部門、中古車買取・販売に注力することで、競合他社との差別化に一層努めてまいります。

ブライダル事業につきましては、人材育成を強化し式場ごとにお客様から高い評価を頂くことによりブランド価値を高めていき、既存式場の稼働率と収益力の向上に努めてまいります。

建設不動産事業につきましては、市場動向を見ながら収益物件の売買を進めていくとともに、時流に合わせた事業領域の拡大に取り組んでまいります。

以上により、次期の連結業績予想につきましては、売上高は36,500百万円、営業利益は1,600百万円、経常利益は1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,100百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性がございます。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は27,780百万円となり、前連結会計年度末と比べ90百万円増加しました。

## a. 流動資産

流動資産残高は、11,309百万円（前連結会計年度末比345百万円増）となりました。主な増加要因は棚卸資産の増加（1,011百万円増）であります。

## b. 固定資産

固定資産残高は、16,471百万円（前連結会計年度末比254百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（340百万円減）であります。

## c. 流動負債

流動負債残高は、8,432百万円（前連結会計年度末比379百万円減）となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少（597百万円減）であります。

## d. 固定負債

固定負債残高は、4,679百万円（前連結会計年度末比721百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（694百万円減）であります。

## e. 純資産

純資産残高は、14,668百万円（前連結会計年度末比1,191百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（1,167百万円増）であります。

自己資本比率は、52.3%となり前連結会計年度末比4.1ポイントの増加となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,413百万円となり、前連結会計年度末と比べ485百万円減少しました。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益による収入（1,776百万円）などにより、1,588百万円の収入（前連結会計年度は1,769百万円の収入）となりました。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出（583百万円）などにより、583百万円の支出（前連結会計年度は561百万円の支出）となりました。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出（792百万円）などにより、1,491百万円の支出（前連結会計年度は1,439百万円の支出）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	44.9	39.7	44.1	48.2	52.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	13.4	17.1	17.6	17.8	18.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	9.6	6.5	3.2	4.6	4.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	22.3	32.3	65.9	53.6	59.6

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な利益還元を行うことを経営課題の一つとして認識しております。財務体質の一層の強化と将来の事業展開を勘案して、内部留保の蓄積を図るとともに安定した配当を継続することを基本的な方針としております。

当社は2024年3月に創立40周年を迎えました。当連結会計年度末の配当金は普通配当として1株当たり60円、創立40周年記念配当として1株当たり40円の計100円を期末配当として実施することと致しました。従いまして中間配当60円と合わせまして年間1株当たり160円とさせていただきます。

また、次連結会計年度の1株当たり配当金につきましては、中間、期末配当ともに1株当たり60円、年間配当金額は1株当たり120円とさせていただきます予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は専ら日本国内で行われており、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,899,577	1,413,649
売掛金	1,631,499	1,779,045
棚卸資産	6,402,653	7,413,775
その他	1,030,663	703,826
貸倒引当金	—	△501
流動資産合計	10,964,393	11,309,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,687,039	4,346,440
土地	6,862,838	6,909,198
リース資産(純額)	27,035	50,608
建設仮勘定	330	—
その他(純額)	528,377	502,162
有形固定資産合計	12,105,621	11,808,410
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	118,096	142,180
無形固定資産合計	127,128	151,212
投資その他の資産		
投資有価証券	105,370	115,870
長期貸付金	18,890	18,290
長期前払費用	120,554	148,285
差入保証金	2,784,830	2,607,914
繰延税金資産	1,394,203	1,549,685
その他	89,886	91,611
貸倒引当金	△20,607	△20,207
投資その他の資産合計	4,493,128	4,511,449
固定資産合計	16,725,878	16,471,072
資産合計	27,690,271	27,780,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,171,319	1,937,639
短期借入金	3,826,343	3,228,456
リース債務	17,262	16,634
未払法人税等	169,190	443,734
未払消費税等	263,765	238,290
未成工事受入金	24,605	1,500
賞与引当金	443,829	440,696
役員賞与引当金	—	10,200
その他	1,895,770	2,115,343
流動負債合計	8,812,086	8,432,495
固定負債		
長期借入金	2,648,753	1,954,045
リース債務	16,052	36,015
繰延税金負債	29,561	9,951
役員退職慰労引当金	477,754	486,614
退職給付に係る負債	623,405	593,486
資産除去債務	1,002,274	1,004,647
長期預り保証金	603,411	595,180
固定負債合計	5,401,213	4,679,941
負債合計	14,213,299	13,112,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,876,719	12,044,690
自己株式	△666,903	△667,108
株主資本合計	13,348,707	14,516,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,114	26,273
退職給付に係る調整累計額	△24,858	△21,732
その他の包括利益累計額合計	△5,743	4,540
非支配株主持分	134,008	147,418
純資産合計	13,476,971	14,668,431
負債純資産合計	27,690,271	27,780,868

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	35,507,623	35,664,983
売上原価	19,753,336	19,436,300
売上総利益	15,754,286	16,228,683
販売費及び一般管理費		
従業員給料	4,111,323	4,092,693
賞与引当金繰入額	416,702	413,695
役員賞与引当金繰入額	—	10,200
退職給付費用	56,865	△1,600
役員退職慰労引当金繰入額	47,750	49,060
賃借料	2,201,040	2,187,160
その他	7,542,511	7,633,277
販売費及び一般管理費合計	14,376,193	14,384,485
営業利益	1,378,093	1,844,197
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,688	13,760
受取手数料	93,508	99,259
受取販売奨励金	8,083	6,787
その他	63,390	30,695
営業外収益合計	179,670	150,502
営業外費用		
支払利息	33,362	26,879
その他	23,841	11,910
営業外費用合計	57,203	38,789
経常利益	1,500,560	1,955,910
特別利益		
固定資産売却益	5,793	1,134
助成金収入	210	27,333
受取保険金	4,350	—
その他	2,763	—
特別利益合計	13,117	28,467
特別損失		
事業譲渡損	—	23,211
店舗閉鎖損失	6,626	—
固定資産売却損	—	1,665
固定資産除却損	1,075	1,469
固定資産圧縮損	—	27,333
減損損失	29,262	154,598
その他	13,640	38
特別損失合計	50,604	208,315
税金等調整前当期純利益	1,463,072	1,776,062
法人税、住民税及び事業税	245,196	600,013
法人税等調整額	206,831	△179,621
法人税等合計	452,028	420,392
当期純利益	1,011,044	1,355,669
非支配株主に帰属する当期純利益	25,316	13,410
親会社株主に帰属する当期純利益	985,727	1,342,259

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,011,044	1,355,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,520	7,158
退職給付に係る調整額	3,125	3,125
その他の包括利益合計	7,646	10,284
包括利益	1,018,691	1,365,953
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	993,374	1,352,543
非支配株主に係る包括利益	25,316	13,410

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,314,100	1,824,791	10,066,453	△599,413	12,605,930
当期変動額					
剰余金の配当			△175,461		△175,461
親会社株主に帰属する 当期純利益			985,727		985,727
自己株式の取得				△67,489	△67,489
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	810,266	△67,489	742,776
当期末残高	1,314,100	1,824,791	10,876,719	△666,903	13,348,707

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	14,593	△27,984	△13,390	108,691	12,701,231
当期変動額					
剰余金の配当					△175,461
親会社株主に帰属する 当期純利益					985,727
自己株式の取得					△67,489
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,520	3,125	7,646	25,316	32,963
当期変動額合計	4,520	3,125	7,646	25,316	775,740
当期末残高	19,114	△24,858	△5,743	134,008	13,476,971

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,314,100	1,824,791	10,876,719	△666,903	13,348,707
当期変動額					
剰余金の配当			△174,288		△174,288
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,342,259		1,342,259
自己株式の取得				△205	△205
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,167,970	△205	1,167,765
当期末残高	1,314,100	1,824,791	12,044,690	△667,108	14,516,472

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	19,114	△24,858	△5,743	134,008	13,476,971
当期変動額					
剰余金の配当					△174,288
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,342,259
自己株式の取得					△205
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	7,158	3,125	10,284	13,410	23,694
当期変動額合計	7,158	3,125	10,284	13,410	1,191,459
当期末残高	26,273	△21,732	4,540	147,418	14,668,431

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,463,072	1,776,062
減価償却費	700,444	716,238
助成金収入	△210	△27,333
店舗閉鎖損失	6,626	—
事業譲渡損	—	23,211
長期前払費用償却額	4,753	13,680
その他の償却額	19,419	36,925
減損損失	29,262	154,598
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,628	△3,132
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	10,200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△110	101
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,781	△25,415
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31,750	8,860
受取利息及び受取配当金	△14,688	△13,760
支払利息	33,362	26,879
固定資産売却損益 (△は益)	△5,793	530
固定資産除却損	1,075	1,469
固定資産圧縮損	—	27,333
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,410	△147,546
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△97,357	△1,011,122
仕入債務の増減額 (△は減少)	△36,396	△233,680
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	22,835	△23,105
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,903	33,343
その他	△54,090	320,986
小計	2,012,050	1,665,327
利息及び配当金の受取額	3,889	3,973
利息の支払額	△32,993	△26,657
助成金の受取額	210	—
法人税等の支払額	△428,661	△291,951
法人税等の還付額	215,360	238,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,769,854	1,588,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△337,025	△583,841
有形固定資産の売却による収入	5,794	2,668
無形固定資産の取得による支出	△83,969	△66,789
資産除去債務の履行による支出	△245,600	—
投資有価証券の取得による支出	△10,181	△188
投資有価証券の売却による収入	150	—
貸付金の回収による収入	550	600
長期前払費用の取得による支出	△22,199	△56,131
事業譲渡による収入	—	60,880
差入保証金の差入による支出	△387	△1,234
差入保証金の回収による収入	134,171	62,754
保険積立金の払戻による収入	810	—
その他	△3,395	△1,781
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△561,282</b>	<b>△583,063</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450,000	△500,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,016,076	△792,595
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,112	△24,673
配当金の支払額	△175,925	△174,141
自己株式の取得による支出	△67,860	△205
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,439,974</b>	<b>△1,491,616</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△231,402	△485,927
現金及び現金同等物の期首残高	2,130,979	1,899,577
現金及び現金同等物の期末残高	1,899,577	1,413,649

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数7社

連結子会社の名称

(株)アイエー

(株)アイエーオートボックス

(株)アイエーマネージメントサービス

(株)アルカンシエル

(株)アルカンシエルプロデュース

(株)アイディーエム

(株)アイエーエナジー

上記のうち、(株)アイエーエナジーについては、当連結会計年度において新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 非連結子会社

該当事項はありません。

2 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

ロ 棚卸資産

評価基準は原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法) によっております。

オートボックス商品

移動平均法による原価法

販売用車輛

個別法による原価法

販売用不動産及び未成工事支出金

個別法による原価法

原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

## (2)重要な減価償却資産の減価償却の方法

## イ 有形固定資産（リース資産を除く）

建物（建物附属設備を除く）

定額法

建物以外の有形固定資産

定率法

2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、事業用定期借地契約による借地上の建物及び構築物につきましては、主に耐用年数を定期借地権の残存年数とした定額法によっております。

耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 2年～45年

## ロ 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、耐用年数は、次のとおりであります。

ソフトウェア 5年

## ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

## ニ 長期前払費用

定額法

## (3)重要な引当金の計上基準

## イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収の可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

## ロ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

## ハ 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

## ニ 役員退職慰労引当金

役員の特別功労金支給に備えるため、内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

## (4)退職給付に係る会計処理の方法

## イ 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

なお、一部の連結子会社については退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

## ロ 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時に従業員の平均残存期間以内の一定の年数（12年～13年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、発生時に全額費用処理しております。

## ハ 未認識過去勤務費用

未認識過去勤務費用の会計処理については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

## (5)重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。いずれの事業についても取引の対価は履行義務を充足してから主として1年以内に受領しているため、重要な金融要素は含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる重要な変動対価はありません。

## イ カー用品事業

カー用品事業においてはカー用品物販、カー用品サービス及び車両販売を行っております。カー用品物販及び車両販売については、顧客に商品を引き渡した時に履行義務が充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。カー用品サービスの主な内容はタイヤ等の取付けサービス、車の整備及び車検であり、対象となるサービスが完了した時点で履行義務が充足されると判断し、サービス完了時点で収益を認識しております。

なお、カー用品事業においてCCCMKホールディングス株式会社が運営するVポイントプログラムを提供しており、同社に支払うポイント相当額を「第三者のために回収する額」として未払金に計上し、その未払金を除外した金額を収益に認識しております。

## ロ ブライダル事業

ブライダル事業においては、主に顧客に挙式披露宴サービスの提供を行っております。これについては、挙式披露宴が終了した時点で履行義務が充足されると判断し、終了時に収益を認識しております。

なお、挙式披露宴サービスのうち、代理人に該当すると判断したもの（衣裳レンタル及び装花等）については、顧客から受取る対価の総額から外注先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

## ハ 建設不動産事業

建設不動産事業においては、主に不動産の賃貸及び販売を行っております。不動産の賃貸については、不動産賃貸借契約で定められた期間にわたり、不動産を賃貸する義務を負っております。当該義務については時の経過につれて充足されるため、賃貸借期間にわたり収益を認識しております。また不動産の販売については、不動産売買契約に基づき物件が引き渡される一時点で履行義務が充足されると判断し、当該引渡時点において収益を認識しております。

## (6)連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

## (7)その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

## (会計方針の変更)

該当事項はありません。

## (追加情報)

該当事項はありません。

## (表示方法の変更)

## (連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」に計上しておりました「受取賃借料」は、費用収益の対応を鑑みて表示区分の見直しを行い、当連結会計年度より「販売費及び一般管理費」の「賃借料」から控除する方法に変更することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取賃借料」に表示していた15,284千円は、「販売費及び一般管理費」の「賃借料」の控除へ組み替えております。なお、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

(連結貸借対照表関係)

## ※1 担保に供している資産

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
建物及び構築物	317,222千円	311,060千円
土地	2,313,870	2,313,870
投資有価証券	21,675	13,005
合計	2,652,768	2,637,935

## 上記に対応する債務

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
短期借入金	2,670,535千円	2,310,421千円
長期借入金	1,656,240	1,195,819
合計	4,326,775	3,506,240

なお、上記の他、販売用不動産（前連結会計年度300,869千円）については登記留保として提供しております。  
対応する債務は、短期借入金（前連結会計年度18,000千円）であります。

## ※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
	13,804,273千円	14,458,087千円

なお、上記減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。

## ※3 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
商品	4,119,549千円	4,068,840千円
販売用不動産	2,180,880	3,253,764
未成工事支出金	158	66
原材料及び貯蔵品	102,063	91,104

## (連結損益計算書関係)

## ※1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、連結財務諸表「注記事項（収益認識関係）1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に記載しております。

※2 期末棚卸高は、収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
6,039千円	△9,925千円

※3 固定資産売却益の内訳は、次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物及び構築物 2,684千円	建物及び構築物 ー千円
その他 3,109	その他 1,134
合計 5,793	合計 1,134

※4 固定資産除却損の内訳は、次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物及び構築物 625千円	建物及び構築物 636千円
その他 449	その他 833
合計 1,075	合計 1,469

※5 減損損失の内容は、次のとおりであります。

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

## (1) 減損損失を認識した主な資産

場所	用途	種類
アルカンシエル南青山 (東京都港区)	アルカンシエル店舗設備	建物及び構築物、長期前払費用、その他
アルカンシエル金沢 (石川県金沢市)	アルカンシエル店舗設備	長期前払費用、その他
オートバックス寒川店 (神奈川県高座郡寒川町)	オートバックス店舗設備	建物及び構築物、ソフトウェア、その他
オートバックス大館中央店 (秋田県大館市)	オートバックス店舗設備	その他
オートバックス横手インター店 (秋田県横手市)	オートバックス店舗設備	建物及び構築物
オートバックス秋田大曲店 (秋田県大曲市)	オートバックス店舗設備	建物及び構築物

## (2) 減損損失の認識に至った経緯

上記店舗については、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであることから投資額の回収が見込まれない状況となったため、帳簿価額から備忘価額を残し全額を減損損失として特別損失に計上しました。

## (3) 減損損失の金額及び内容

建物及び構築物	16,269千円
有形固定資産その他	10,181千円
ソフトウェア	0千円
長期前払費用	2,811千円
合計	29,262千円

## (4) 資産のグルーピング方法

当社グループは、本社・店舗ごと、また賃貸用不動産については物件ごとにグルーピングをしております。

## (5) 回収可能価額の算定方法

上記店舗については、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来のキャッシュ・フローがマイナスのため、備忘価額により評価しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

## (1) 減損損失を認識した主な資産

場所	用途	種類
アルカンシエル南青山 (東京都港区)	アルカンシエル店舗設備	建物及び構築物、その他
オートボックス寒川店 (神奈川県高座郡寒川町)	オートボックス店舗設備	その他
オートボックス秋田店 (秋田県秋田市)	オートボックス店舗設備	建物及び構築物、その他
オートボックス利府店 (宮城県宮城郡利府町)	オートボックス店舗設備	建物及び構築物、その他

## (2) 減損損失の認識に至った経緯

上記店舗については、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであることから投資額の回収が見込まれない状況となったため、オートボックス利府店については帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額、その他の店舗については帳簿価額から備忘価額を残し全額を減損損失として特別損失に計上しました。

## (3) 減損損失の金額及び内容

建物及び構築物	112,490千円
有形固定資産その他	42,107千円
合計	154,598千円

## (4) 資産のグルーピング方法

当社グループは、本社・店舗ごと、また賃貸用不動産については物件ごとにグルーピングをしております。

## (5) 回収可能価額の算定方法

上記店舗については、回収可能価額は使用価値により測定しており、オートボックス利府店については将来キャッシュ・フローを2.9%で割り引いて算定し、その他の店舗については将来のキャッシュ・フローがマイナスのため、備忘価額により評価しております。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	1,645,360	—	—	1,645,360

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	173,427	19,530	—	192,957

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

取締役会決議に基づく自己株式取得による増加	19,400株
単元未満株式の買取りによる増加	130株

## 3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年5月13日 取締役会	普通株式	88,315	60.0	2022年3月31日	2022年6月27日
2022年11月4日 取締役会	普通株式	87,145	60.0	2022年9月30日	2022年12月9日

## (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年5月12日 取締役会	普通株式	利益剰余金	87,144	60.0	2023年3月31日	2023年6月26日

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	1,645,360	—	—	1,645,360

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	192,957	60	—	193,017

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

取締役会決議に基づく自己株式取得による増加	一株
単元未満株式の買取りによる増加	60株

## 3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年5月12日 取締役会	普通株式	87,144	60.0	2023年3月31日	2023年6月26日
2023年11月2日 取締役会	普通株式	87,144	60.0	2023年9月30日	2023年12月8日

## (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2024年5月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	145,234	100.0	2024年3月31日	2024年6月27日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
現金及び預金勘定	1,899,577千円	1,413,649千円
預入期間3か月超の定期預金	—	—
現金及び現金同等物	1,899,577	1,413,649

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分に関する意思決定を行い、かつ、業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社の事業区分は、当社の内部管理上採用している区分をベースに、オートボックス商品の販売を行う「カー用品事業」、結婚式の請負を行う「ブライダル事業」、建設工事・戸建住宅建設販売を行う「建設不動産事業」を報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,736,272	3,984,228	1,463,003	35,183,504	324,119	35,507,623	—	35,507,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,520	2,143	228,300	232,963	1,396,368	1,629,331	△1,629,331	—
計	29,738,792	3,986,371	1,691,303	35,416,467	1,720,487	37,136,955	△1,629,331	35,507,623
セグメント利益	977,576	215,845	87,711	1,281,133	93,861	1,374,994	3,098	1,378,093
セグメント資産	12,892,542	3,559,809	4,646,490	21,098,842	16,276,137	37,374,979	△9,684,708	27,690,271
その他の項目								
減価償却費	220,168	267,666	9,177	497,012	226,668	723,680	△3,808	719,872
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	208,953	62,040	—	270,993	89,981	360,974	△2,210	358,764

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、債権の相殺消去△5,971,928千円、投資の消去△3,692,124千円が含まれております。

(3) セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,576,068	4,235,184	1,566,614	35,377,867	287,115	35,664,983	—	35,664,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,520	3,623	421,289	427,432	1,398,688	1,826,120	△1,826,120	—
計	29,578,588	4,238,808	1,987,903	35,805,300	1,685,804	37,491,104	△1,826,120	35,664,983
セグメント利益	1,157,833	312,011	248,963	1,718,808	132,936	1,851,745	△7,547	1,844,197
セグメント資産	12,162,441	3,118,385	4,867,711	20,148,538	13,566,090	33,714,629	△5,933,760	27,780,868
その他の項目								
減価償却費	236,045	285,521	7,426	528,993	228,126	757,119	△3,972	753,146
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	466,393	145,926	974	613,294	115,245	728,540	△11,520	717,019

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、債権の相殺消去△3,147,652千円、投資の消去△2,760,382千円が含まれております。

(3) セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

#### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
外部顧客への売上高	29,736,272	3,984,228	1,463,003	324,119	35,507,623

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、該当事項はありません。

##### (2) 有形固定資産

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、該当事項はありません。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
外部顧客への売上高	29,576,068	4,235,184	1,566,614	287,115	35,664,983

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
減損損失	18,906	10,356	-	-	29,262

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
減損損失	151,467	3,130	-	-	154,598

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	9,186円82銭	9,998円34銭
1株当たり当期純利益	676円32銭 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	924円18銭 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	13,476,971	14,668,431
普通株式に係る純資産額(千円)	13,342,963	14,521,013
差額の主な内訳		
非支配株主持分(千円)	134,008	147,418
普通株式の発行済株式数(株)	1,645,360	1,645,360
普通株式の自己株式数(株)	192,957	193,017
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	1,452,403	1,452,343

## 2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	985,727	1,342,259
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	985,727	1,342,259
普通株式の期中平均株式数(株)	1,457,483	1,452,375

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	552,830	140,153
売掛金	14,135	—
原材料及び貯蔵品	1,317	66
前払費用	46,920	43,596
関係会社短期貸付金	372,000	290,000
未収入金	280,478	15,794
立替金	3,200	8,664
流動資産合計	1,270,882	498,275
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,393,571	2,242,515
構築物	31,892	23,803
車両運搬具	3,203	1,929
工具、器具及び備品	32,117	22,581
土地	6,280,011	6,326,911
リース資産	244	3,691
有形固定資産合計	8,741,041	8,621,434
無形固定資産		
ソフトウェア	37,172	30,350
無形固定資産合計	37,172	30,350
投資その他の資産		
投資有価証券	104,370	114,870
関係会社株式	2,093,124	1,161,382
出資金	14,490	14,490
関係会社長期貸付金	1,502,500	682,500
長期前払費用	4,843	—
生命保険積立金	69,886	71,518
差入保証金	536,602	474,290
繰延税金資産	249,083	246,215
貸倒引当金	△581,134	△273,243
投資その他の資産合計	3,993,766	2,492,023
固定資産合計	12,771,979	11,143,808
資産合計	14,042,862	11,642,083

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,477	—
短期借入金	6,492,800	4,454,800
1年内返済予定の長期借入金	597,627	549,013
リース債務	264	1,094
未払金	265,071	5,198
未払費用	32,597	130,163
未払法人税等	19,733	24,833
未払消費税等	34,469	24,954
前受金	11,183	11,583
預り金	4,924	9,495
賞与引当金	20,520	19,115
流動負債合計	7,488,668	5,230,252
固定負債		
長期借入金	1,845,779	1,296,766
リース債務	—	2,640
退職給付引当金	33,012	32,118
役員退職慰労引当金	321,750	337,110
資産除去債務	196,776	190,230
長期預り保証金	91,514	116,767
固定負債合計	2,488,831	1,975,632
負債合計	9,977,500	7,205,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金		
資本準備金	1,824,791	1,824,791
資本剰余金合計	1,824,791	1,824,791
利益剰余金		
利益準備金	72,459	72,459
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,501,800	1,865,684
利益剰余金合計	1,574,259	1,938,143
自己株式	△666,903	△667,108
株主資本合計	4,046,247	4,409,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,114	26,273
評価・換算差額等合計	19,114	26,273
純資産合計	4,065,362	4,436,198
負債純資産合計	14,042,862	11,642,083

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収益		
不動産賃貸収入	935,073	938,026
関係会社受入手数料	472,800	472,800
飲食売上高	312,614	274,977
営業収益合計	1,720,487	1,685,804
営業原価		
不動産賃貸原価	616,638	617,100
飲食売上原価	102,734	94,113
営業原価合計	719,373	711,213
営業総利益	1,001,114	974,590
販売費及び一般管理費	907,252	841,654
営業利益	93,861	132,936
営業外収益		
受取利息	15,734	9,744
受取配当金	223,508	185,716
受取手数料	1,236	1,201
その他	3,343	1,444
営業外収益合計	243,822	198,106
営業外費用		
支払利息	48,435	42,569
その他	497	276
営業外費用合計	48,932	42,846
経常利益	288,750	288,196
特別利益		
固定資産売却益	99	—
助成金収入	210	—
貸倒引当金戻入額	186,184	307,890
特別利益合計	186,494	307,890
特別損失		
事業譲渡損	—	23,211
店舗休止等損失	681	—
特別損失合計	681	23,211
税引前当期純利益	474,563	572,875
法人税、住民税及び事業税	33,946	34,987
法人税等調整額	△3,469	△284
法人税等合計	30,476	34,703
当期純利益	444,086	538,172

売上原価明細書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
飲食売上原価明細表		飲食売上原価明細表	
(千円)		(千円)	
期首飲食材料棚卸高	1,130	期首飲食材料棚卸高	1,250
期中飲食材料仕入高	102,855	期中飲食材料仕入高	94,008
他勘定振替高	-	他勘定振替高	1,146
期末飲食材料棚卸高	1,250	期末飲食材料棚卸高	-
飲食売上原価	102,734	飲食売上原価	94,113

(注) 1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
事業譲渡 (千円)	-	1,146

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		利益準備金	その他利益剰余金	
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	2,692,000	△1,458,825	1,305,634
当期変動額							
剰余金の配当						△175,461	△175,461
当期純利益						444,086	444,086
自己株式の取得							
別途積立金の取崩					△2,692,000	2,692,000	-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	△2,692,000	2,960,625	268,625
当期末残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	-	1,501,800	1,574,259

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	△599,413	3,845,111	14,593	14,593	3,859,705
当期変動額					
剰余金の配当		△175,461			△175,461
当期純利益		444,086			444,086
自己株式の取得	△67,489	△67,489			△67,489
別途積立金の取崩		-			-

株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			4,520	4,520	4,520
当期変動額合計	△67,489	201,135	4,520	4,520	205,656
当期末残高	△666,903	4,046,247	19,114	19,114	4,065,362

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	—	1,501,800	1,574,259
当期変動額							
剰余金の配当						△174,288	△174,288
当期純利益						538,172	538,172
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	363,884	363,884
当期末残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	—	1,865,684	1,938,143

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	△666,903	4,046,247	19,114	19,114	4,065,362
当期変動額					
剰余金の配当		△174,288			△174,288
当期純利益		538,172			538,172
自己株式の取得	△205	△205			△205
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			7,158	7,158	7,158
当期変動額合計	△205	363,678	7,158	7,158	370,836
当期末残高	△667,108	4,409,925	26,273	26,273	4,436,198

(4) 個別財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

5. その他

該当事項はありません。